

進路だより

第2号 2016.6.16

来週には期末試験2週間前を迎えます。気持ちを切り替えて頑張りましょう。

◎各大学の2017年度入試の変更点 ～増えるWEB出願と英語外部試験利用～

都内の主な私大の入試変更点についてまとめました。詳細は必ず各大学のサイトや要項等で確認してください。

【早稲田大学】

一般入試およびセンター試験利用入試の出願がWEB出願に変更。

文化構想学部・文学部：一般入試において、新方式「英語4技能テスト利用型」を導入。これに伴い募集定員も変更。

人間科学部：「公募制学校推薦入試（FACT選抜）」を導入。

5年生へ ◇2018年度からの変更点◇

政治経済学部：一般入試の試験科目の選択科目から「政治・経済」が廃止。

国際教養学部：「外国語」「国語」「地歴または数学」の3教科の得点に「英語4技能試験（英検またはTOEFL iBT）」の結果を加算する方式に移行。それに伴い学部独自のリスニング試験廃止。

【慶應義塾大学】

一般入試の出願がWEB出願に変更。

【上智大学】

一般入試（学科別）

英語学科：2次試験廃止

看護学科：選択科目の出題範囲の変更

昨年「数学（ⅠA）」「化学（化学基礎）」「生物（生物基礎）」から1科目選択

↓

今年「数学（ⅠAⅡB【数列・ベクトル】）」「化学（化学基礎・化学）」

「生物（生物基礎・生物）」から1科目選択

一般入試（TEAP利用型） ※国際教養学部を除く全学部統一で実施

すべての学科でTEAPの出願スコアが4技能に変更。

◇TEAP利用型の特徴

- ・ 出願時にTEAPのスコアを提出し、入試当日、英語の試験は実施しない。
 - ・ TEAPを複数回受験した場合、各技能の最高点と、それらを組み合わせた総合点での出願も可能。
 - ・ 複数学科の出願可能。
 - ・ 試験問題はマーク式と記述式の併用。（記述式は理解力・思考力など、より総合的な学力到達度を測るもの）
- ※一般入試（学科別）は英語と他2科目マーク式だが、TEAPは記述導入なので、試験対策が異なるので、注意が必要。

TEAPとは？

Test of English for Academic Purposes の略語で、上智大学と日本英語検定協会が共同で開発した大学で学習・研究する際に必要とされる英語運用力を測定するテスト。2014年度入試の上智大学の入試で導入され、以後、英語外部資格の一つとして利用する大学が増えている。

【試験内容】

Reading test：マークシートによる択一選択方式（70分）

Listening test：マークシートによる択一選択方式（50分）

Writing test：解答用紙への記入（70分）

Speaking test：1対1の面接方式（10分）

【対 象】高校2年生以上

【試験日程】年3回の実施（7月24日／9月25日／11月20日）

★今年からTEAP CBT（コンピュータ上で操作）がスタート 10月16日実施
ただし、TEAP CBTでは出願資格と認めない大学もあるので注意！

【利用大学（関東）】

上智大学/立教大学/中央大学/青山学院大学/東京理科大学/学習院大学

神田外語大学/獨協大学/武蔵野大学/関東学院大学/明治学院大学

2017年度より

筑波大学/早稲田大学/明治大学/聖路加国際大学

【明治大学】

法学部：一般入試で外国語の試験時間が90分から70分に変更。

一般入試で国語の出題範囲が変更

昨年「国語総合、現代文B、古典B（漢文を除く）」

↓

今年「国語総合（漢文の独立問題は出題しない）」に変更される。

経営学部：一般試験で、英語4技能試験活用方式を導入

情報コミュニケーション学部：一般試験で入試方式（昨年度実施のA方式B方式）を統一

し、3時限目の選択受験科目（「世界史B」「日本史B」

「政治・経済」「数学ⅡB」）に新たに「情報総合」を追加。

政治経済学部：全学部入試で、合否判定科目が4科目から3科目に変更。

センター利用入試の後期日程募集廃止。

グローバル型特別入試（英語外部試験基準あり）を新規実施。

商学部：センター利用入試で「理科」の利用可能科目に「物理基礎」「化学基礎」

「生物基礎」「地学基礎」を追加。

【青山学院大学】

英語外部資格試験を利用する入試の拡大

昨年の、文学部英米文学科、総合文化政策学部、地球社会共生学部に加え、今年は経済学部、経営学部、国際政治経済学部の一部の方式で利用。

経済学部・経営学部：英語外部資格試験を外国語の得点として利用。

国際政治経済学部：英語リスニングを廃止し、英語外部資格を出願資格とする。

【立教大学】

一般入試およびセンター試験利用入試の出願がWEB出願に変更。

全学部入試（3科目・グローバル）の試験科目

経済学部、経営学部、社会学部、法学部、観光学部、コミュニティ福祉学部、現代心理学部

「日本史B」「世界史B」「数学」の選択科目に加え、「政治・経済」を追加。

理学部物理学科：試験科目の変更。

自由選抜入試

経済学部：新規実施。

経営学部：出願資格および試験科目を変更。英語外部資格試験を取り入れる。

現代心理学部：心理学科において出願資格に英語外部資格を取り入れる。

コミュニティ福祉学部：出願資格の変更。

国際コース選抜入試

Global Liberal Arts Program（G L A P）の開設に伴い始まる入試。

G L A Pとは？

リベラルアーツ教育を基盤とし、英語による授業科目のみで学士の学位取得できる、既存10学部のカリキュラムから独立した全く新しいプログラム。

教育体系・手法の抜本的な国際標準化を行う。入学時点で専攻分野を細かく定めず、入学後は外国人留学生と共に学ぶ。プログラムには1年間の海外留学が組み込まれており、留学前にはチュートリアル教育を行い、また、外国人留学生と一緒に寮で生活する。

【中央大学】

英語の外部検定試験利用入試が始まる。

指定のスコアにより、大学の独自試験が免除。

【法政大学】

昨年より導入された英語外部検定試験利用入試の実施学部や出願条件が一部変更になります。

※経済学部国際経済学科（新規）

学部	英検	TOEFL-iBT	TOEFL-PBT	IELTS	TOEIC	TEAP
経済学部国際経済	準1級	62点以上	510点以上	Band5.5以上	650点以上	×
G I S	準1級	76点以上	540点以上	Band6.0以上	820点以上	×
人間環境学部	2級	57点以上	490点以上	Band5.5以上	600点以上	226点以上
現代福祉学部	準1級	57点以上	500点以上	Band5.5以上	600点以上	×
スポーツ健康学部	準1級	57点以上	490点以上	Band5.5以上	600点以上	226点以上
情報科学部	2級	52点以上	470点以上	Band4.5以上	500点以上	226点以上
生命科学部	2級	52点以上	470点以上	Band4.5以上	500点以上	226点以上

国際文化学部 センターB方式（3教科型）を導入

文学部・英文学科、心理学科 センターC方式（5教科6科目型）導入

デザイン工学部建築学科 センターC方式導入

現代福祉学部 センターC方式導入